

令和元年度

(第1事業年度)

自：平成31年4月1日

至：令和2年3月31日

業務報告書

令和2年12月17日

いわて水産アカデミー運営協議会

1 事業方針

岩手県は、「岩手県漁業担い手育成ビジョン（平成 28～31 年度）」（以下「ビジョン」という。）を平成 27 年度に策定し、このビジョンにより、漁業者、漁協、水産関係団体、市町村及び県等が本県の漁業を取り巻く現状や課題に対する認識を共有するとともに、課題の解決に向けて具体的な施策に取り組むこととなった。

その具体的な施策の一つとして、次代を担う就業希望者の確保を目的とした、「長期研修機会の提供」を掲げているが、これは、新規漁業就業者のうち漁家子弟以外の者の定着率が低く、その原因が「漁業就業に必要な基礎的知識・技術の欠如」が一因であることが分かったためである。

このため、県では平成 29 年度に漁業関係団体や市町村等の委員で構成される「いわて型漁業の人材確保・育成検討会」を開催し、新規漁業就業者の確保・育成の方向性を検討した結果、漁業就業希望者向けの漁業研修機関が必要と判断し、「いわて水産アカデミー」の設立を決定した。

国内で人口減少や高齢化が進行する中、今後も漁業就業者の減少は避けることができないことから、いわて水産アカデミーでは、単に漁業就業者の確保を行うものではなく、意欲ある就業希望者を地域内外から確保し、新たな生産技術や経営手法を身につけ、地域をリードする漁業者として育成し、将来の担い手として確実に地域に定着させることを目的とすることとした。

なお、いわて水産アカデミーの運営は、漁業関係団体、市町村単位の新規就業者育成協議会等（沿岸市町村・漁協等が参画）を構成員とする「いわて水産アカデミー運営協議会」（以下「運営協議会」という。）により行い、本県漁業に関係する団体・組織が協力を連携し、漁業就業者の確保・育成に取り組む。

2 事業内容

（1）運営協議会の運営

① 運営協議会（総会）・作業部会の開催

運営協議会総会は、運営協議会の重要方針の決定機関として、年 1 回開催し、水産アカデミーの運営体制、カリキュラムの内容等を協議・決定した。

作業部会は、現場の実務担当者の意見を参考とし、研修カリキュラムの内容や研修制度全般について協議を行う機関として、年 3 回開催した。

作業部会で協議・決定した内容は、総会に報告したほか、重要な案件については総会に諮って決定した。

区分	開催日等	開催場所等	主な議題
総会	令和 2 年 3 月 27 日	書面表決	令和 2 年度事業計画（案）ほか
作業部会	令和元年 7 月 2 日	盛岡市	第 2 期研修生募集要項（案）ほか
	令和元年 9 月 25 日	盛岡市	令和 2 年度負担金割合（案）ほか
	令和 2 年 2 月 27 日	盛岡市	令和元年度総会への提出議案ほか

② 研修制度・研修カリキュラムの検証・見直し

いわて水産アカデミーの研修制度・研修カリキュラムについては、研修生、外部講師や運営スタッフからの声のほか、研修生の知識・技術の習熟状況等を勘案し、作業部会において結果を評価・検証した。

（2）いわて水産アカデミーの研修の実施

① 集合研修（Ⅰ・Ⅱ）の実施

漁業就業を目指すうえで必要な基本的な知識・技術を学ぶ集合研修Ⅰについて、平成 31 年 4 月 9 日（火）から 4 月 26 日（金）までの 14 日間開催した。

また、より高度な知識や技術を学ぶ集合研修Ⅱについて、5 月、7 月、9 月、11 月、1 月、3 月において、計 23 日間開催した。

運営協議会においては、研修全般の準備、研修の進行のほか、研修生の管理等を行った。

区分	開催日	主たる開催場所
集合研修Ⅰ	平成31年4月9日～26日 (14日間)	北里大学海洋生命科学部附属 三陸臨海教育研究センター
集合研修Ⅱ	令和元年5月27日～30日 (4日間)	
	令和元年7月8日～11日 (4日間)	
	令和元年9月17日～19日 (3日間)	
	令和元年11月11日～14日 (4日間)	
	令和2年1月27日～30日 (4日間)	
	令和2年3月23日～26日 (4日間)	

② 実践研修の実施

集合研修Ⅰ終了後の5月から翌年3月までの11カ月間、研修生が希望する市町村・漁業種類で実践研修を実施した。

運営協議会においては、市町村協議会等と連携して研修生及び指導者と定期的に連絡を取り合うなどの管理を徹底したほか、随時、相談を受け付けた。

また、令和2年度以降の研修生の受入れのため、引き続き、指導者の確保に努めた。

③ 密漁監視・地域交流活動の実施

研修生の地域への定着を支援する目的で、地域住民と一緒に実施できる活動を行うものであり、市町村協議会と連携して、研修生を地域で実施している密漁監視活動、漁協や市町村のイベント、伝統芸能・文化へ参加させた。

(3) 情報発信・漁業体験

① 岩手の漁業・就業情報、水産アカデミーの研修状況等の発信

地域内外の漁業就業希望者や漁業に興味を持っている者に対し、岩手県の漁業やいわて水産アカデミーに興味を持ってもらえるよう、随時、岩手県の漁業、就業情報や研修の状況を発信した。

② 漁業体験の実施

地域内外の漁業就業希望者や漁業に興味を持っている者に対し、漁業のことを知る場、漁業に対する適性を知る場を提供するため、漁業就業支援フェアの参加団体による漁業体験を実施した。

③ いわて水産アカデミー研修生の募集

令和2年度の研修生を募集するため、募集要項やチラシ等の作成を行った。

また、早期に県内の高校、県内外の大学、県内ハローワーク、協議会会員等に対して広く情報提供したほか、漁業就業支援フェアやU・Iターンイベント、就業イベント等に広く参加し、いわて水産アカデミーのPRを行い、研修生の確保に努めた。